



令和 6 年 6 月 25 日

AI を活用したメンタルケアサポートシステムを開発 ～患者さんとの対話で心に寄り添う AI～

◆発表のポイント

- ・ 患者さんの心理的ケアとして、24 時間 365 日利用可能な AI システムを開発しました。
- ・ AI システムは、患者さんのさまざまな悩みや気持ちに寄り添い、孤独感や不安の軽減を目指します。
- ・ 医療現場での新たなメンタルケアサポートの選択肢として確立することを目標とします。

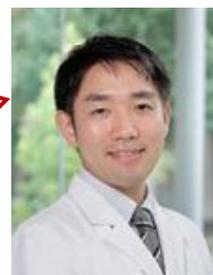
患者さんは治療に伴う身体的な苦痛だけでなく、将来への不安や恐れ、孤独感など、さまざまな心理的ストレスを抱えています。特にがんなどの生命にかかわる疾患と闘う患者さんは、夜間・休日など周りにサポートしてくれる人が少ない時に、不安な気持ちを一人で抱え込んでしまうことがあります。そこで、岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）医療情報化診療支援技術開発講座の長谷井准教授（整形外科）を中心とするチームが開発したのが、AI を用いたメンタルケアサポートシステム（以下、AI システム）です。このシステムは、患者さんの悩みや不安の訴えに 24 時間 365 日寄り添います。

この AI システムは、患者さんの心理状態を理解し、共感的な対話を通じて、不安や孤独感を和らげることを目指しており、岡山大学病院小児医療センターと協力して作成されました。この取り組みは、患者さんのメンタルヘルスケアに新たな選択肢を提供するものであり、従来の医療者によるサポートと併用することで、より効果的で包括的なケアが可能になると期待されています。

AI を用いたメンタルヘルスケアサポートの病院導入は、全国初となります。

◆研究者からのひとこと

患者さんの心に寄り添う AI システムの開発は、患者さんの QOL⁽¹⁾（生活の質）向上に貢献できる可能性を秘めた、革新的な取り組みです。私たちは、AI が患者さんの心の支えの一つとなり、治療への前向きな気持ちを引き出すことを目指しています。治療介入するものではなく、気持ちに寄り添うことを目的としていますので、気軽に使っていただきたいです。今後も患者さんのお声に耳を傾け、AI の改善を重ねてまいります。このシステムが、患者さんの心のケアに新たな選択肢を提示し、医療現場に変革をもたらすことを願っています。



長谷井准教授



PRESS RELEASE

■発表内容

さまざまな疾患と向きあう患者さんのメンタルヘルスサポートは非常に重要な分野です。患者さんは、治療に伴う身体的な苦痛に加え、将来への不安や恐れ、孤独感など、さまざまな心理的ストレスに直面します。特にがん患者さんでは、病状の進行や治療の副作用への不安、生活への影響などから、精神的な負担が大きくなることがあります。入院中の夜間に押し寄せる不安など、物理的に医療スタッフによるサポートが難しい時間帯のメンタルケアサポートは、解決が難しい課題の一つとして存在しています。また、人には話しにくい内容など、どうしても患者さんが一人で抱えてしまう悩みが存在します。そこで、岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）医療情報化診療支援技術開発講座の長谷井嬢准教授（整形外科）を中心とする研究チームが開発したのが、AIを活用したメンタルケアサポートシステムです。この開発には、岡山大学病院小児医療センターからの協力も得て、専門家の視点で挙動確認が行われました。

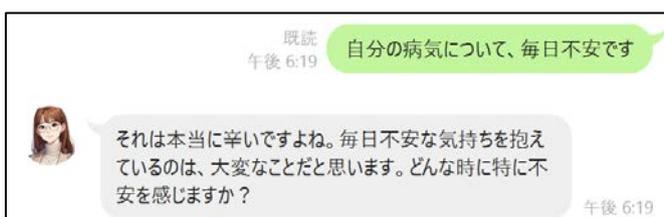
このAIシステムは、患者さんの悩みや不安の訴えに24時間365日寄り添い、夜間・休日関係なく、いつでも相談できる存在として機能します。これまでのトライアルで、人には話しにくい繊細な問題について、「AIだけに相談できた」といった患者さんの意見も既に寄せられています。

AIは直接的な治療介入は行わず、あくまで患者さんとの対話を通じて、その心理状態を理解し、共感的なコミュニケーションを図ることで、不安や孤独感の軽減を目指しています。AIとの会話は、患者さんが自分の気持ちを表現し、整理する機会にもなります。また、AIによる客観的な視点や適切な言葉かけは、患者さんの不安を和らげるのにも役立ちます。

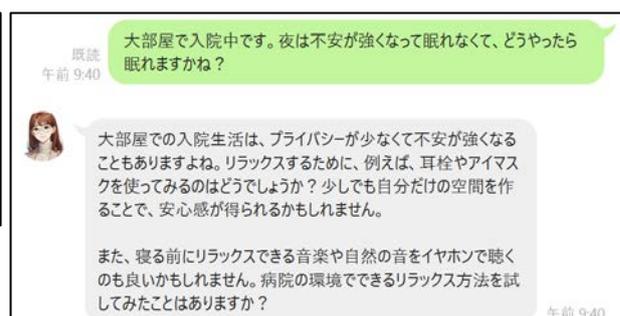
この取り組みを従来の医療従事者によるサポートと併用することで、より効果的で包括的なメンタルケアを可能にすると考えています。今後は、患者さんのご意見を反映したAIの継続的な改善を行い、より自然で温かみのある対話によりケアが行えるように開発を行っていきます。

今回のAIシステムは、既に岡山大学病院、九州大学病院 整形外科、岐阜大学医学部附属病院 整形外科、名古屋医療センター 小児科、東北大学病院 整形外科で患者さんは利用することが可能です。将来的には、このシステムをもっと多くの医療機関へ展開し、より多くの患者さんのメンタルヘルスサポートに役立てることができればと考えています。

岡山大学病院は、全国初となるこの革新的な取り組みを通じて、さまざまな疾患を抱える患者さんのQOL（生活の質）向上に貢献し、医療現場に新しい風を吹き込むことを目指しています。



実際の会話例





PRESS RELEASE

■研究資金

本研究は、「公益財団法人ウエスコ学術振興財団 学術研究費助成金」の支援を受けて実施しました。

■補足・用語説明

- (1) QOL : QOL=Quality of life (クオリティ オブ ライフ) は「生活の質」「生命の質」などと訳され、患者様の身体的な苦痛の軽減、精神的、社会的活動を含めた総合的な活力、生きがい、満足度という意味が含まれます。

<お問い合わせ>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域 (医)
医療情報化診療支援技術開発講座
准教授 長谷井 嬢
(電話番号) 086-235-7273



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。